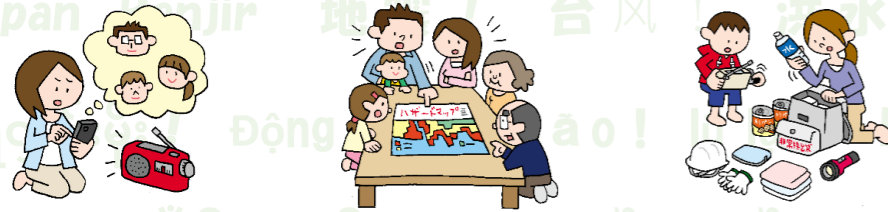


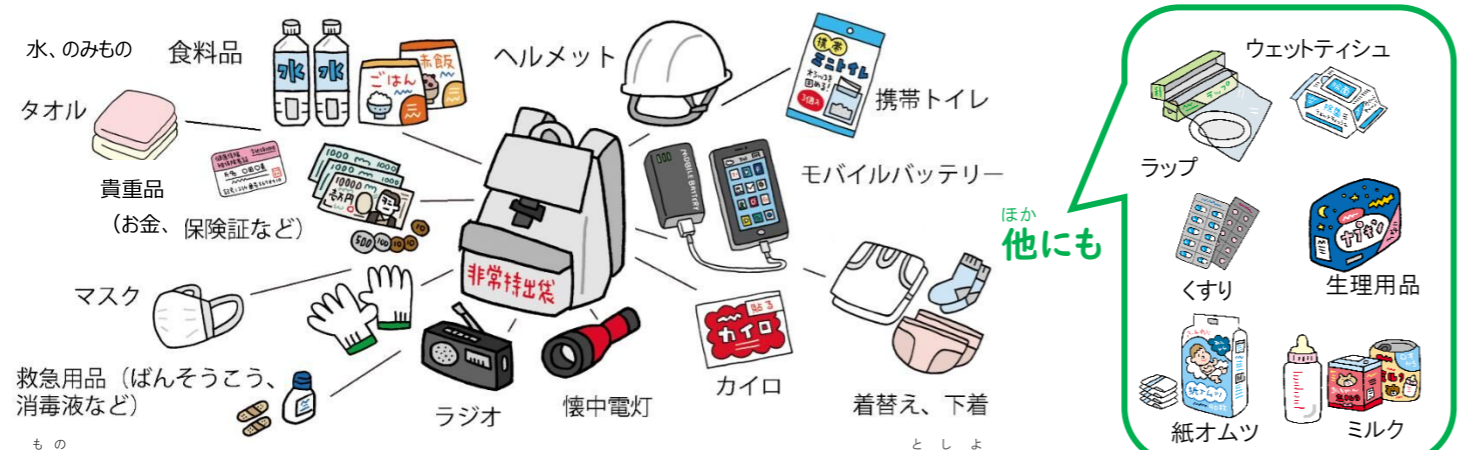
災害のとき困らないためにすること



ふだんからどうやって連絡するかきめておく。
 家族や友だちと、どこへ逃げるか話し合う。
 逃げる時の持ち物を用意しておく。

災害はいつおきるかわかりません。いつでも、どこにいても、あわてることなく、こまらないうちに、準備が大事!

非常時にやくにたつものをリュックに入れて用意



持ち物はひとによってちがいます。赤ちゃんがいる、ペットがいる、お年寄りがいるなど、家庭によってさまざまです。日ごろから自分が持ち出したいのものを考えておく。

災害の情報がわかるアプリとWEBサイト



大阪防災アプリ
 災害、避難所、天気の情報や電車の運行状況なども知ることができる。
 住んでいる地域を登録すれば、地域の情報を知るリンクもある。



Safety tips
 14の国の15種類の言語から自分の好きな言語が使える。
 災害情報のほかにも、生活にやくにたつサイトのリンクもある。

災害にあったとき、無事を知らせる方法

171 災害時伝言ダイヤル

1 無事を伝える(声を録音) → 自分の電話番号入力(伝える相手を知っている番号) → 録音

2 無事を確かめる(声をきく) → 相手の電話番号入力 → 聞く

泉大津市 外国人のためのやさしい日本語防災ガイド

災害! 地震! 台風!

南海トラフ(大きな地震)

地震! がくると 津波がくる!
 4.4メートル(2階の高さ)

95分後

電車の線路よりも東(山側)へ逃げる。
 または、近くにある高い場所(津波避難ビル)へ逃げる。

津波避難ビル
 Tsunami Evacuation Bldg.
 海崎避難棟 / 新島 2階 110号室
 泉大津市 001

日本は自然災害がいっぱい!

地震 台風 洪水 津波 大雨

災害にあったらどうする?
 みんなで考えて準備をしよう。

台風がきたら

どこへ逃げるか、何をもっていか、逃げる用意をする。
 天気予報をよく見る。
 住んでいるところが安全か、たしかめる。

川や海の近くに行かない!

地震がおきたら

まず自分の安全をまもる。
 つくえの下にかくれる。頭をまもる。
 命がいちばん大事!

火を消す
 地震がおさまったら
 ドアを開けて逃げ道を作る。

避難する(逃げる)とき

長ぐつはダメ!
 ブロックの横を歩かない
 動きやすい服、リュック、スニーカーで!

車は道の左側にとめて、キーをつけたままにする。
 電気のブレーカーをおとし、ガスの元栓をしめる。



こうしき
公式ホームページ



LINE
ひじょうじ じょうほう
非常時に情報をシェア

ちず きごう 地図の記号について



していひなんじよ
指定避難所
しょう ちゅうがっこう
(小・中学校)



いちじひなんばしょ
一時避難場所
こうえん
(公園など)



つなみひなんびる
津波避難ビル
たかいたてもの
(高い建物)



さいがい じきたくしえん
災害時帰宅支援
ステーション
(コンビニなど)



**こちらがわへ逃げる！
※車はつかわない！**

**津波がきたときは、
こちらがわへ逃げる！**



まちなかのあちこちに、こんな標識(ひょうしき)があります。日ごろから注意して見て、近くの避難所をおぼえておきましょう。

ハザードマップ
ポータルサイトで
ちか ひなんじよ
近くの避難所を
みつけよう。